

遠州トラック

# 中期経営計画

2026-2030



## 企業戦略

1 従業員のエンゲージメントを向上させる

2 戦略商品を核に事業領域を拡大する

3 物流サービスのイノベーションに挑戦する

4 資本コストや株価を意識した経営を実現する

5 社会的課題への取組みを進める

# 企業戦略 ① 従業員のエンゲージメントを向上させる



従業員が仕事に対する誇りとやりがいをもって働ける  
安全な労働環境をつくり、従業員のエンゲージメントを  
向上させる

働きがい



高齢化

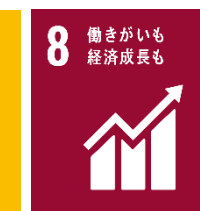


労働環境



多様化





## 戦略商品を核に関東・関西間の物流サービスを拡充して、事業領域を拡大する

拡大に際しては、安全品質を向上させながら、当社車両と乗務員、作業員で運営する自社輸送体制を堅持し、お客様のニーズに柔軟に対応する能力を確保します。

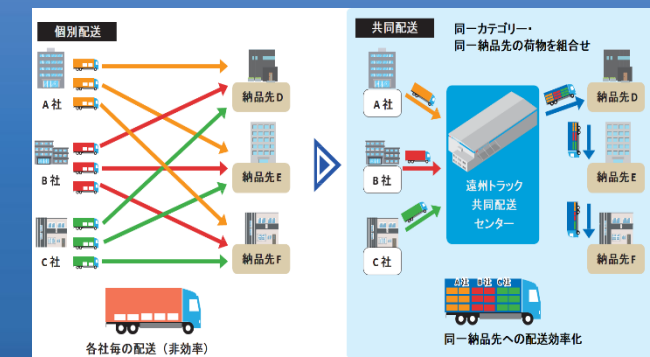
### 中継輸送



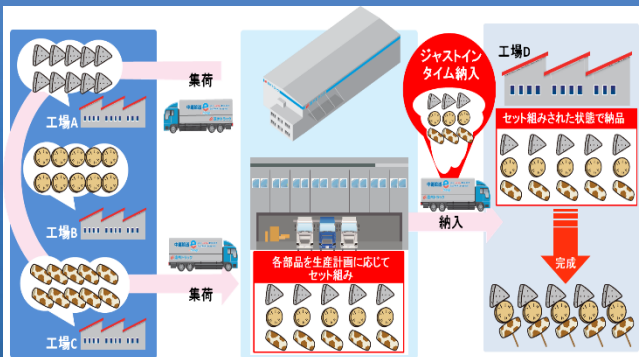
### EC物流



### 共同配送



### 調達物流



### 物流拠点



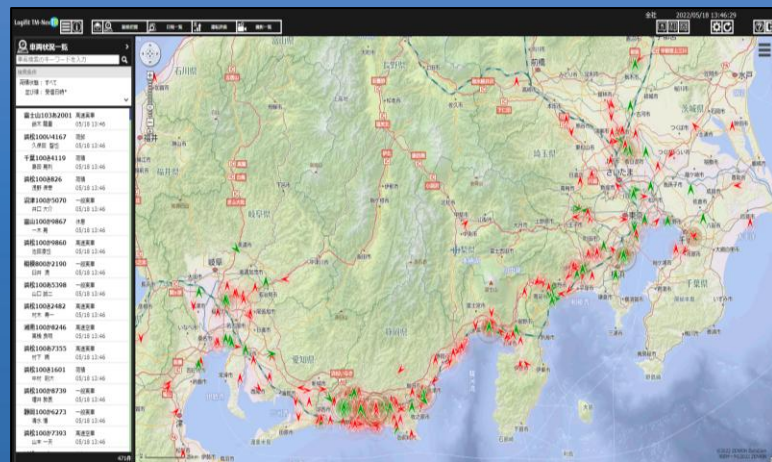
### 協力会社ネットワーク





**先端技術の積極的な導入により、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、未来に向けた物流サービスのイノベーションに挑戦する**

### データとデジタル技術を活用



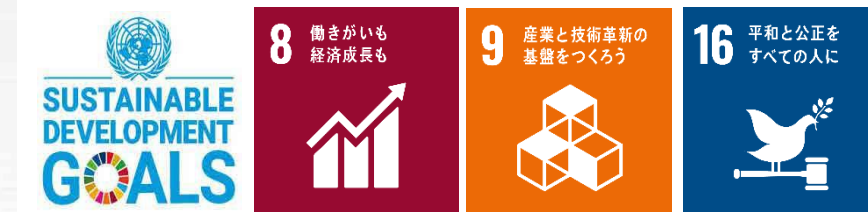
### 業務の効率化と省人化



### 基幹システムを刷新



# 企業戦略 ④ 資本コストや株価を意識した経営を実現する



資本コストを意識した成長投資を進め、経営資源を企業成長と株主還元適切に配分します。

また、株主及び投資家の皆様との対話や情報開示の強化を進めて、適正な株価が形成されるよう努めます。

事業成長の追求に加え、資本コストや株価を強く意識した経営へと進化してまいります。

成長投資・財務健全性・株主還元のバランスを重視し、投下資本の効率性を高めることで、持続的な企業価値向上を目指します。

また、株主・投資家の皆様との建設的な対話を通じ、当社の成長戦略と企業価値が適切に評価される環境づくりに取り組んでまいります。

# 企業戦略 ⑤ 社会的課題への取組みを進める



法令を遵守し、お客様と共同して地球環境にやさしい物流機器の導入(物流の改善)を進めます。また、地域の交通安全づくりや行事への参画を通じて社会の持続的な成長に貢献します。

## モーダルシフト



## 車両の電動化・自動化



## CASBEE評価の取得(※)



## 地元花火大会のボランティア



## 交通安全教室



## 社会貢献活動



(※)CASBEEとは  
一般財団法人建築環境・省エネルギー機構が開発した建築物の環境性能を総合的に評価する制度のことです。

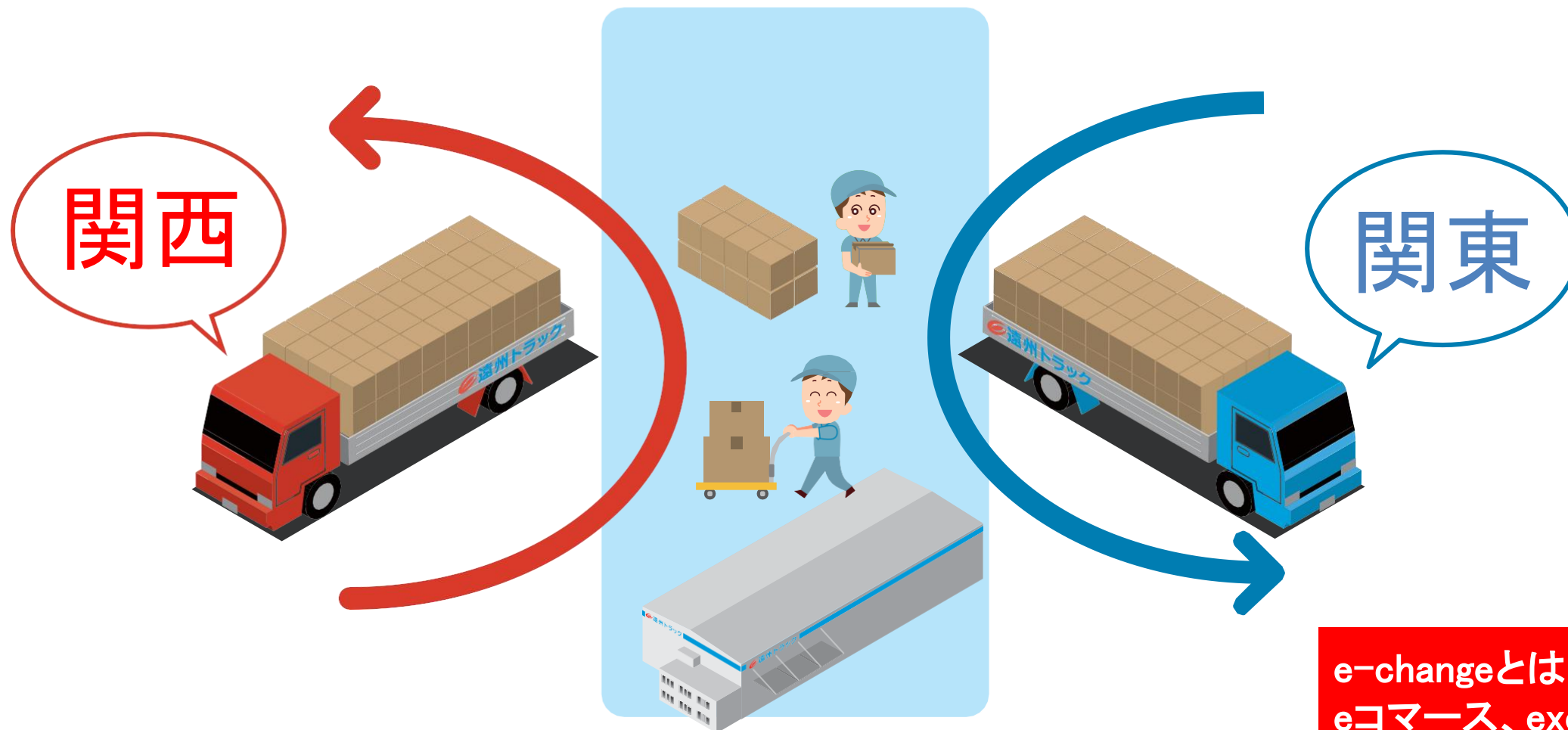
# 事業戦略1 新しい物流サービスに挑戦し、事業領域を拡大する

## 1. -1 中継輸送サービス(e-change)を推進する



**中継輸送**  **e-change**  
つなく つながる 乗りかえる!!  
日本の真ん中で e-change!!

乗務員が日帰りできる  
関東・関西間の物流サービス



お客様の  
長距離輸送の  
集車難解消

ドライバーの  
負担の軽減

ホワイト  
物流を推進

2024年問題  
に対応

e-changeとは  
eコマース、exchange(交換)と当社名の頭文字から名付けた  
中継輸送を表す商標です。

# 事業戦略1 新しい物流サービスに挑戦し、事業領域を拡大する

## 1. -2 中継拠点を活用して幹線輸送とエリア配送を繋げたネットワークを拡充する



**中継輸送**  つなく つながる 乗りかえる!!  
日本の真ん中で e-change!!  
e-change



中継輸送による関東・関西間の物流サービスを、  
東北、九州を初めとした各地とも接続させ、  
乗務員不足で困難になる長距離輸送の問題を解決する

# 事業戦略1 新しい物流サービスに挑戦し、事業領域を拡大する

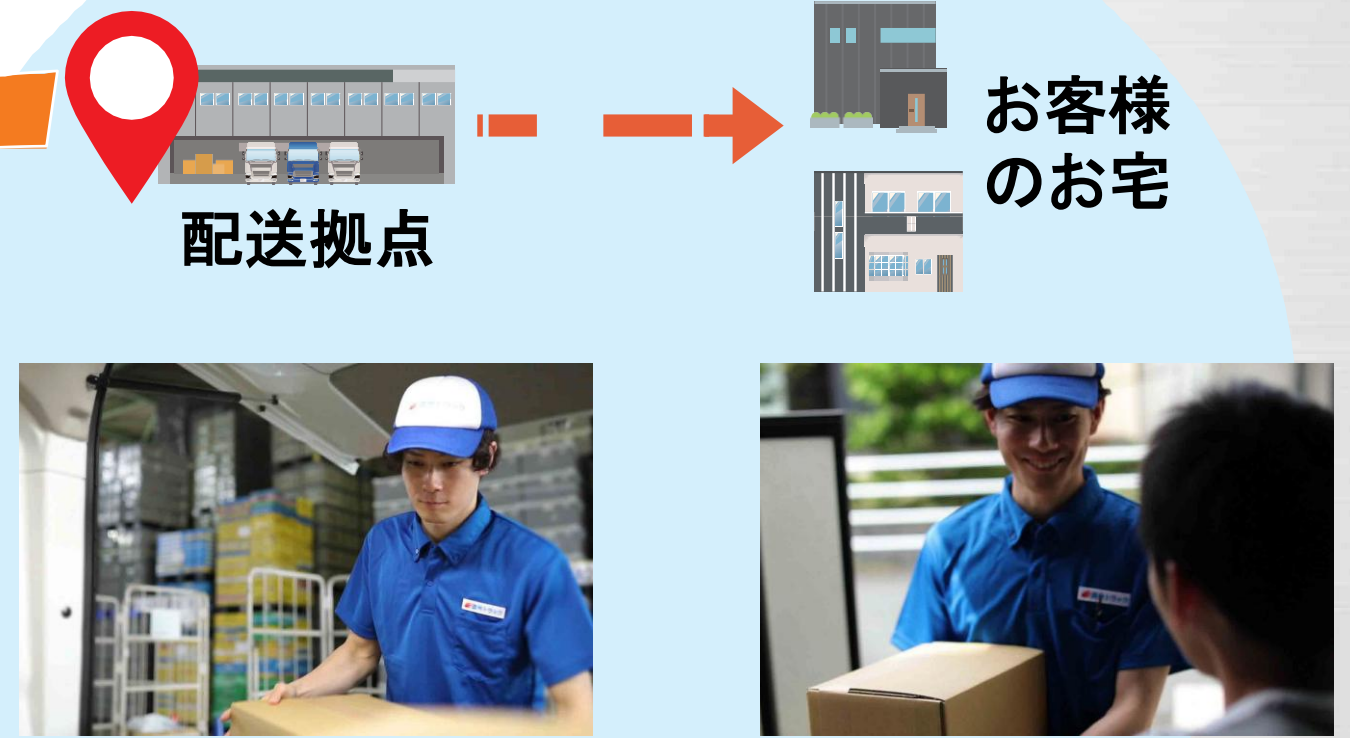
## 2. EC(eコマース:インターネット上の電子商取引) 物流を拡充する



東海道を中心とする幹線輸送



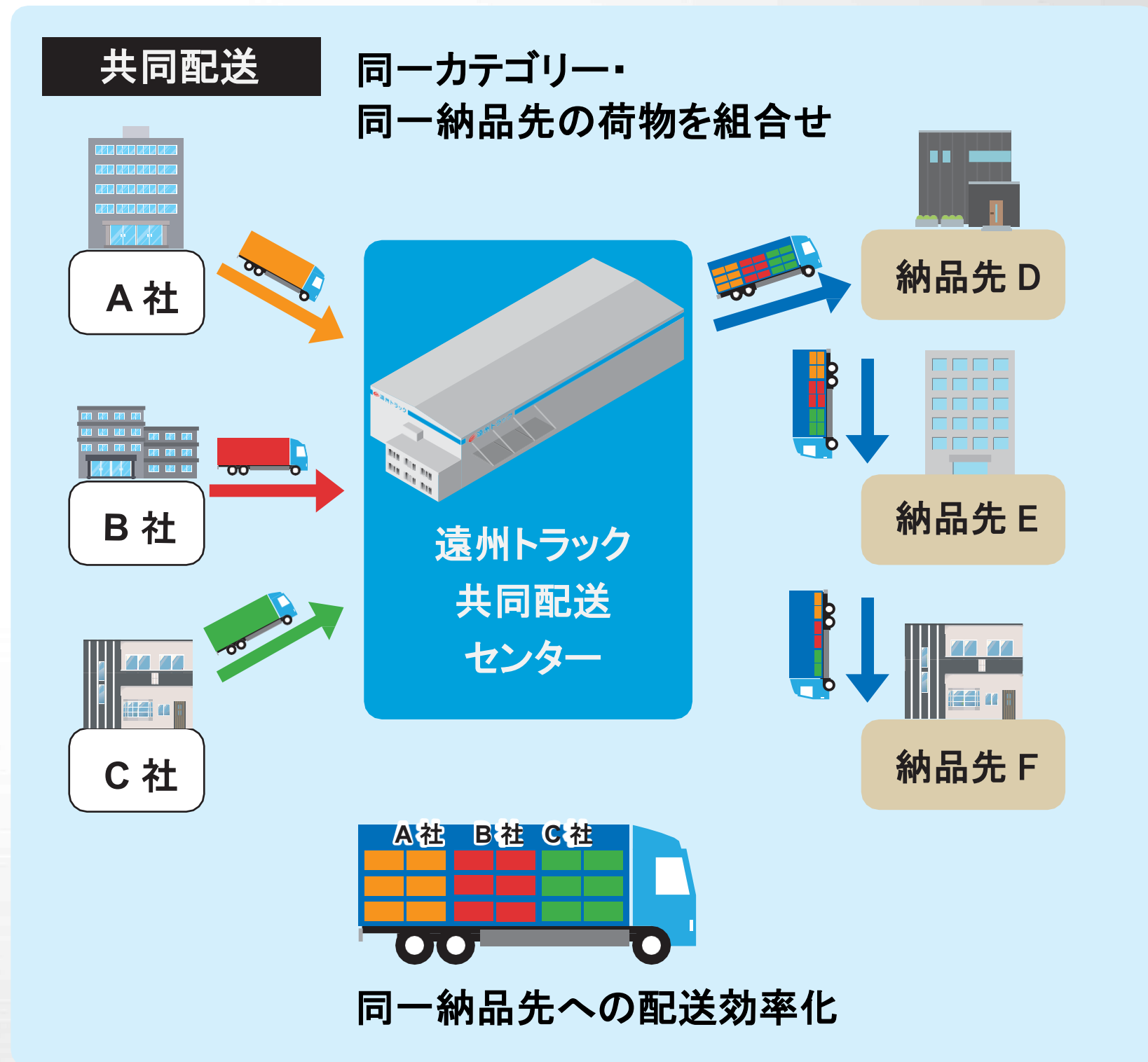
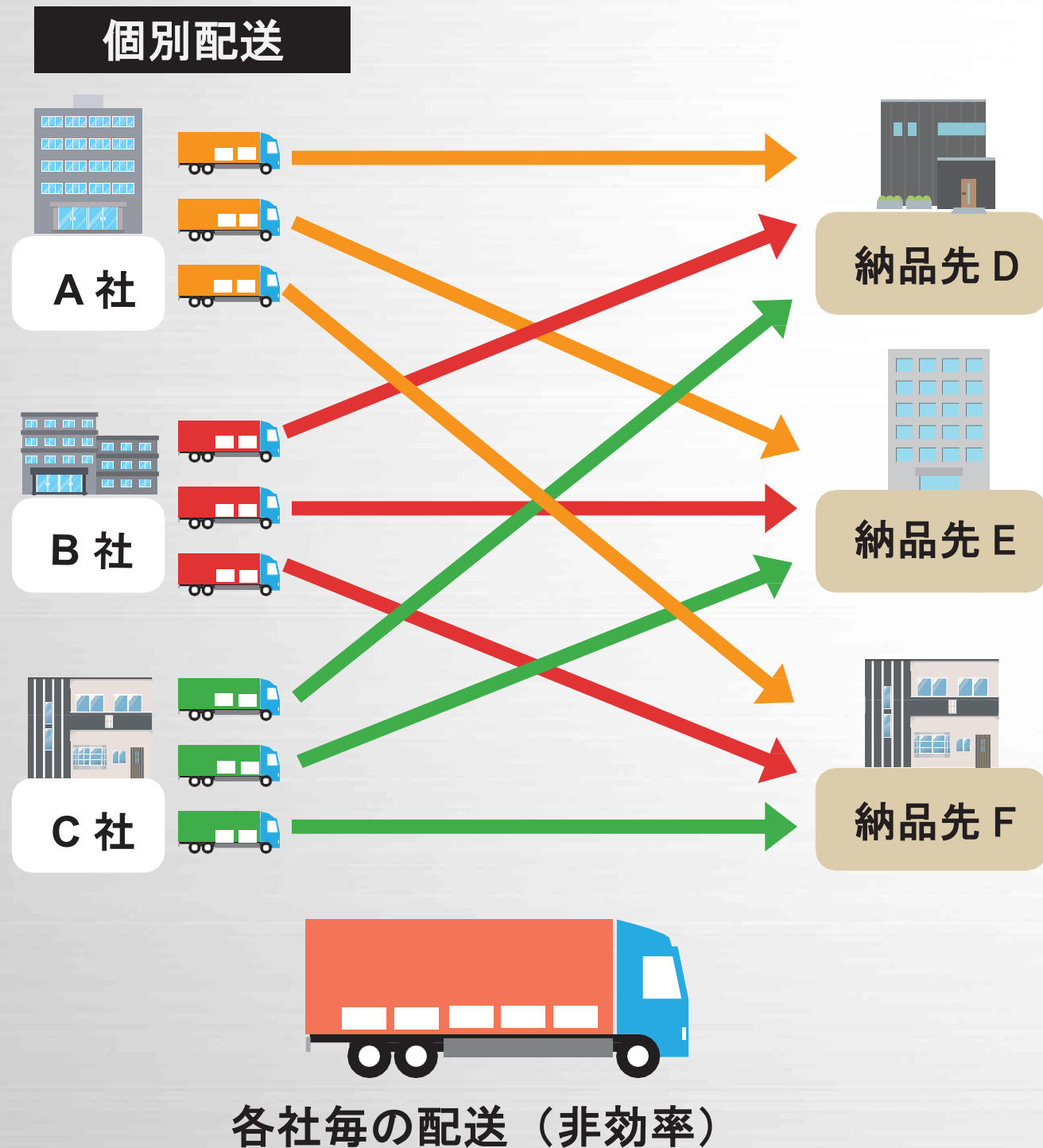
ラストワンマイル輸送



東海エリアでのEC物流ネットワークを活用して  
新たなEC顧客の個配業務を開拓する

# 事業戦略1 新しい物流サービスに挑戦し、事業領域を拡大する

## 3. 共同配送網を拡充する



# 事業戦略1 新しい物流サービスに挑戦し、事業領域を拡大する

## 4. 協力会社ネットワークを拡充する



# 事業戦略1 新しい物流サービスに挑戦し、事業領域を拡大する

## 5. 調達物流を進化させる



当社拠点を原料・資材を集積させる場にするに加えて、セット組み機能や多頻度適時輸送など顧客に最適な納品形態を実現させる場として進化させる

# 事業戦略1 新しい物流サービスに挑戦し、事業領域を拡大する

## 6. 最適な物流サービスの提供に向けて 物流拠点を新設する



### 当社グループの体制の強み

- ・車両650台
- ・全国27拠点
- ・配車センター配置  
(24時間体制・集中管理)
- ・中継拠点の設置
- ・ドライバー教育の充実
- ・自社整備体制



### 顧客の需要

- ・物量変動に対する柔軟な対応
- ・イレギュラーに対する迅速な対応
  - ・安心安全な輸送
  - ・最適な物流提案

### 協力会社と提携して

- ・日本全国に400社以上
- ・日本全国への配送網
- ・ドライバー教育の充実



# 事業戦略2 事業戦略推進のための投資を行う

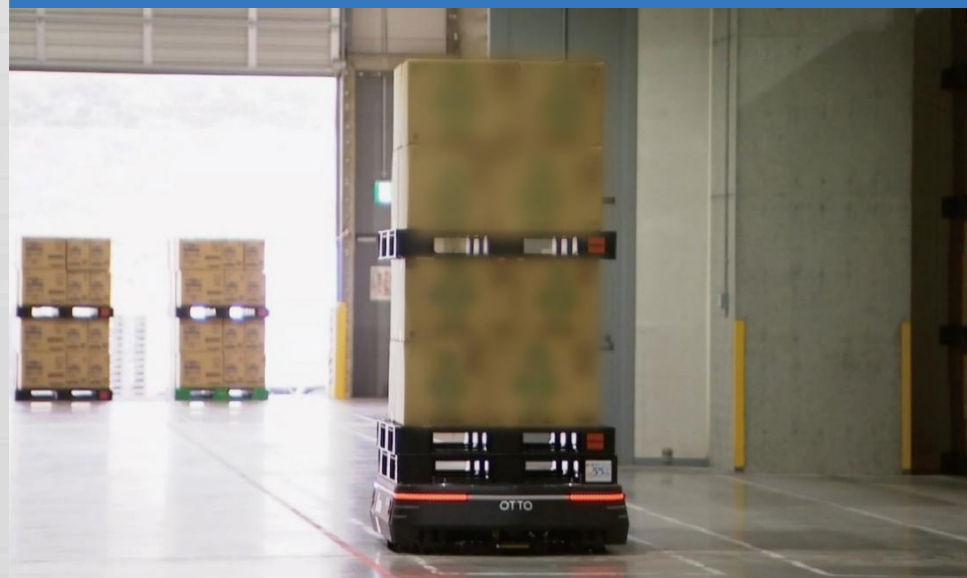


9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



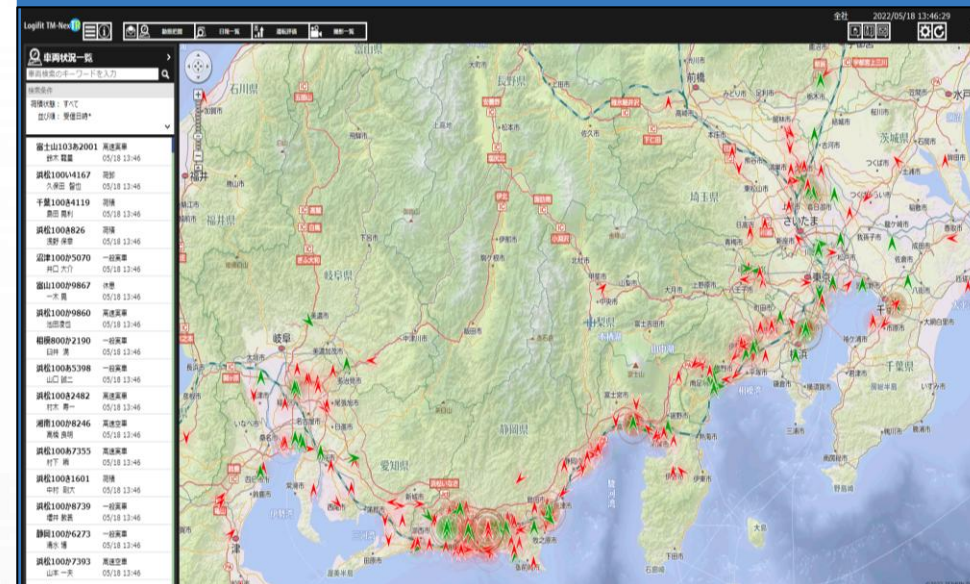
## 1. DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、 物流サービスのイノベーションに挑戦する

### 最新技術の導入



効率化・省人化

### AI、IoT、RPAの活用



生産性向上

### 基幹システムを刷新



DXを推進

# 事業戦略3 人的資本価値を高める投資を行う

## 1. 人材が事業の価値を高める人的資本であると捉えて投資する



従業員の処遇と  
職場環境の改善

多様な人材の  
募集と確保

従業員の  
健康保持・増進



従業員のエンゲージメントを高め、組織の活性化や生産性の向上につなげる

## 事業戦略4

# コンプライアンスを遵守し、 コーポレートガバナンスの強化を進める

- 乗務員等の時間外労働の上限規制の適用に伴う構造的な変化や、慢性的な労働力不足に法令遵守で対応する
- コーポレートガバナンスコードに対応したガバナンス強化を進める



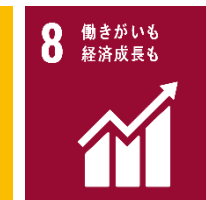
16 平和と公正を  
すべての人に



## 事業戦略5

# 地球にやさしい物流に取り組む

- 中継輸送、共同配送、調達物流の最適化、モーダルシフト等の提案により、社会的課題であるCO2削減に積極的に取り組む



# 数値目標および事業投資額(連結)

## 数値目標および事業投資額(連結)

	2030年度(計画最終年度)
営業収益	61,000 百万円
営業利益	4,000 百万円
事業投資額(期間累計額)	33,000 百万円

ROE(自己資本利益率)は8%以上を目指す

配当性向は30%以上を目指す

(注) 当資料に記載されている内容は、当社が判断した種々の前提および仮定に基づいたものであり、記載された将来の計画・目標数値、施策の実行を確約または保証するものではありません。実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

# (参考資料) 前中期経営計画の振り返り

## 数値目標および事業投資額(連結)

	2025年度(計画最終年度)	
	中期経営計画	実績
営業収益	52,200 百万円	49,947 百万円
営業利益	3,650 百万円	3,108 百万円
事業投資額 (期間累計額)	9,000 百万円	7,860 百万円
ROE (自己資本利益率)	8 %以上	9.4 %
配当性向	30 %以上	31.8 %

袋井ロジスティクスセットセンターが稼働



白鳥西チルドセンターが稼働



都田第2倉庫に太陽光パネル設置



さいたま営業所を移転

